

三島市×「刀剣乱舞-ONLINE-」コラボレーション企画

これまででの歩み

「刀剣乱舞-ONLINE-」とは

PCブラウザ&スマートフォン向け刀剣育成シミュレーションゲームです。本ゲームには、名だたる刀剣が戦士へと姿を変えた「刀剣男士」と呼ばれるキャラクターたちが登場。個性豊かな刀剣男士を収集・強化・育成し、部隊を結成してさまざまな合戦場を攻略していきます。

本作の流行により若い女性を中心に刀剣愛好家の層は広がり、「刀剣男士」のモチーフとなった刀剣を鑑賞するため、全国各地に足を運ぶ人々が増えていきます。また、本ゲームと刀剣を所蔵する寺社や博物館・美術館などが協働することで、文化財を活用した観光振興・地域活性化に寄与してきました。

また平成29年新語・流行語大賞への「刀剣乱舞」のノミネート、なかなか展示されなかった品が展示されるなど、認知は広がり、その影響は幅広い分野に波及しているといえます。

コラボは4年目了！

三島市は、佐野美術館で開催の刀剣展に合わせ、本ゲームとの多彩なコラボレーション企画を実施してきました。

■平成28年度 刀剣展

「名刀は語る 磨きの文化」

初のコラボレーション企画を実施。スタンプラリーやグッズ販売を行い、若い女性を中心に全国から多数のファンが三島の地に集まりました。

■平成29年度 刀剣展

「上杉家の名刀と二十五腰」

「三島大通り商店街」に刀剣男士のフラッグを掲示し、三島の街全体でコラボレーション企画を盛り上げました。

■平成30年度 刀剣展

「REBORN 蘇る名刀」

伊豆箱根鉄道駿豆線の1編成3車両の中吊り・車額ポスターが刀剣男士になり、エンブレムも刀剣乱舞仕様に模様替え。三島へ修善寺間を走行しました。

刀剣乱舞-ONLINE-

④

写し刀剣展示

in 三島市郷土資料館

郷土資料館に、現代刀工によるゲーム所縁の刀剣の写し「太刀 復元 三日月宗近 影改」を含む4振りの刀剣を展示。

⑤

コラボグッズ販売

三島でしか買えない

限定のコラボグッズを販売。

大笹穂槍 銘藤原正真作（号蜻蛉切）（部分）室町時代（16世紀）個人蔵



刀剣男士

蜻蛉切

今年の佐野美術館刀剣展は……

「名刀への道」

約40点の刀剣を展示！

「名刀への道」展へのお誘い

1月7日(火)
~2月16日(日)
10-17時

※木曜休館
入館16時30分まで

日本刀が完成したのは、平安時代後期と考えられています。この頃に活躍した伯耆の安綱、豊後の行平、備前の包平などの名工の刀剣には、誕生間もない時代特有の力強さが溢れ、800年を経た今でも多くの人々を惹きつけています。本展では、日本刀の誕生間もない平安時代後期から鎌倉時代にかけての刀剣を中心に、刀剣男士のモチーフとなった「名物信濃藤四郎」などを紹介。また展覧会に合わせ、佐野美術館所蔵・寄託の刀剣より国宝の長光の薙刀、重要文化財の名物松井江、天下三名槍のひとつで、刀剣男士のモチーフとなった蜻蛉切などを特別展示します。

入館料：一般・大学生1000円

小・中・高校生500円

※毎週土曜日は小中学生無料、

15人以上の団体は各2割引



PHOTO/ 眞野敦

日本刀は、日本人が創造した「仮名」と同様に、日本が誇る特有の文化です。その発生のきっかけは、遣唐使廃止でした。日本は遣唐使により中国文化の多くを学ぶと同時に、日本人の特性との違いも見出しました。そして文字をはじめ、日本の四季の風土に適した生活様式、農工具などの新様式創造の工夫を重ねたのです。それは刀剣についても同様でした。この度の展覧会では、完成期の刀剣を中心にご覧いただきながら、日本刀が生まれるまでの過程もご紹介します。

佐野美術館理事長 渡邊妙子

5つのコラボ企画 今年も出陣！ 三島市

例年好評のコラボスタンプラリーを軸にコラボレーション企画を展開。
※続報や詳細は、下記QRからご覧ください。

01

コラボスタンプラリー

スタンプが設置された市内の文化・観光施設5カ所のうち、佐野美術館を含む3つ以上の施設でスタンプを集めた方に景品を贈呈

02

等身大パネル展示

佐野美術館をはじめ、各スタンプラリーポイントに刀剣男士の等身大パネルを設置

03

コラボフラッグ掲示

三島大通り商店街に、刀剣男士のフラッグを掲示



市公式 HP



市公式 Twitter



刀剣男士
信濃藤四郎



重要文化財 短刀銘吉光(名物 信濃藤四郎)
鎌倉時代(13世紀) 致道博物館蔵